

経営管理科 3年D組

教 科	商 業	科目(単位)	ビジネス情報 (4単位)	選択相手科目	財務会計Ⅱ
使用教科書	ビジネス情報 新訂版 (実教出版)				
授 業 形 態	通常授業 ・ 分割授業 ・ TT				

1 科目の目標

情報通信ネットワークの導入やソフトウェアの活用に関する知識と技術を習得させ、情報を効率的に処理することの重要性について理解させるとともに、ビジネスの諸活動においてコンピュータを適切に運用する能力と態度を育てる。

2 科目の内容と授業の進め方

- ・業務の情報化の必要性、情報通信ネットワークの導入と運用及びデータの保護を取り扱い、オフィス業務において情報通信ネットワークを効果的に活用するための基礎的な知識と技術を習得させる。
- ・ビジネスに関する情報を表計算ソフトウェアやデータベースソフトウェアを利用して管理、分析、活用する知識や技術を習得する。
- ・ソフトウェアを利用したビジネス情報システムの開発について理解し、コンピュータを活用して業務を合理化、自動化するなど積極的に推進する創造的な能力と態度を育てる。

3 学習の方法

- ・コンピュータを活用し基本的なシステム構築や運用・管理ができるように目指してください。また、コンピュータに関する知識や専門用語の意味を理解し、使い分けることができるようにしてください。
- ・表計算ソフトウェアを有効に活用しデータの表現技法やグラフの表現技法を学んでください。
- ・データベースソフトウェアを活用し基礎的な知識と技術を学んでください。
- ・表計算ソフトウェアやデータベースソフトウェアを活用した基本的なシステム開発ができるように知識や技術を学んでください。
- ・卒業作品などを作る。(時間に余裕がある場合に限り)

4 課題・補習について

- ・随時、問題集の点検や毎時間の進捗の確認をします。
- ・検定試験の前には、希望に応じて補習を実施します。

5 資格・検定試験

- ・全商ビジネス文書実務検定 1級
- ・全商情報処理検定試験ビジネス情報部門 1級

経営管理科 3年D組

教 科	商 業	科目(単位)	ビジネス情報(4単位)	選択相手科目	財務会計Ⅱ
-----	-----	--------	-------------	--------	-------

6 年間の学習計画

月	単 元 名	学 習 の 内 容	評価方法 (課題等)
4	第1章ビジネスと情報 1. 情報化社会とビジネス 2. ネットワークとビジネス	・ビジネスと情報の関係、企業で利用されている業務システムを学ぶ。 ・新しいビジネス形態の進展やその課題について学ぶ。 ・情報通信ネットワークを構築するための機器の概念や設定に関する知識を理解する。	行動観察 提出物 小テスト
5	第2章情報通信ネットワークの活用 1. ネットワークの基礎 2. ネットワークの構築と管理 3. サーバ管理 4. セキュリティ管理	・ネットワーク機器の導入手順やコンピュータ等の設定手順やシステム管理に関する基礎的な知識・技術を習得する。 ・ファイルの共有やアクセス権の設定などサーバの管理に関する基礎的な知識を習得する。 ・セキュリティ管理やデータ管理、ネットワークの安全性を維持するために必要な知識や技術を習得する。	行動観察 提出物 小テスト
6	第3章表計算ソフトウェアの活用 1. 集計処理 2. オペレーションズリサーチの基礎	・ワークシート間の集計やグループ集計、クロス集計などの技法を理解する。 ・シミュレーションや線形計画について機能を学習し最適な解き方理解する。	行動観察 提出物 小テスト 前期中間考査
7		○ビジネス文書検定学習	
8	3. ビジネス計算	全商ビジネス文書実務検定1級 ・販売分析についてはグラフを用いた分析方法を理解させる。また、財務関数などを用いた分析方法を理解させる。	
9		○情報処理検定学習 全商情報処理検定ビジネス情報部門1級	前定期末考査
10	4. 手続きの自動化	・手続きの自動化や方法を身に付ける。	
11	第4章データベースソフトウェアの活用 1. ビジネス情報とデータベース	・データベースの特徴や基本的な機能について、身近な例を示して理解させる。	行動観察 提出物 小テスト 後期中間考査
12	2. データベースの利用 3. SQLの操作	○ビジネス文書検定学習 全商ビジネス文書実務検定1級 ・データベースの活用方法を習得する。 ・SQLを用いた操作方法を習得する。	
1	第5章ソフトウェアを活用したシステム開発 1. システム開発の基礎	・システム開発における代表的な開発モデルと、基礎的な知識を学習する。	学年末考査
2		○情報処理検定学習 全商情報処理検定ビジネス情報部門1級	
3	2. アルゴリズムの基礎 3. 表計算ソフトによる開発 4. データベースソフトによる開発	・処理の流れを整理するための基礎的および応用的な手法を習得する。 ・マクロ機能を用いた開発の基礎を学習する。 ・データベースソフトウェアを利用し、システムを構築する手法を身に付ける。	